願つた川島(泰雄)石塚(近友)中清藤山(鉄道)の諸君等と共に三月十二日衆議院に渡辺伍、小泉又治郎、両代議士を訪ねその紹介で提出致しました。尊にして三月二十五日請願日程二百五十一として衆議院本會議に於て採擇され了した(註理由書は巡日各團体にそれぞれ送附してありますから御参照を乞ふ)

(二)、建議案

建議案は三月十二、十四、十六の三日間に亘り、衆議院に於て渡辺伍(政)清瀬一郎(新)山石卯重雄(本)杉浦武雄(憲)の各代議士と會見依頼の結果四代議士提出者となり請願と同様の理由を附し三月十八日衆議院に提出されました。尊にして是又三月二十五日の本會議に於て建議案日程四百十として可決されたのであります。

(三)、質問書

質問書は三月十八日衆議院に於て清瀬一郎、渡辺伍両代議士と會見依頼致しました結果三月二十三日両代議士の名を以て質問書を提出三月二十五日政府より左の答辨書ありました。

内閣總理大臣若槻礼次郎。衆議院假議長森田茂殿。衆議院議員清瀬一郎君外一名提出官業共済組合の組織並資産に関する質問に対し別紙答辨書差進候。

別紙答辨書

(一)現に存在する官業共済組合の数十八(但しその内殖民地にあるものが八)

(二)右各組合の組合員数並資産は別表の通り

(三)官業共済組合を法人とし其の資産の管理等に付組合員の参與權を確認すべきや否やは付ては政府は目下考慮中なり

右答辨候也。昭和二年三月二十五日大蔵大臣片岡直温

別表

	組合員数	組合ノ資産
國有鉄道共済組合	一八三、六八二人、	五三、五七五、九七八円、
專賣局同	三三、二五八人、	三、一四八、一九〇円、
逓信部内同	一三七、二四五人、	一七、一九八、八二〇円、
印刷局同	三、六一七人、	六二五、三一五円、
海軍同	五一、五九〇人、	一九、五九二、六五一円、